

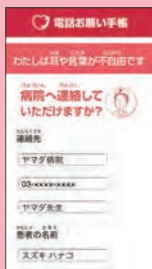
耳や言葉が不自由な方のコミュニケーションツール

「電話お願い手帳」 アプリ版を ご利用ください！

耳や言葉の不自由な方が、外出先で近くの方にご協力をお願いするためのコミュニケーションツールとして、NTTが1983年2月から全国で配布している「電話お願い手帳」。2016年12月より、お手持ちのスマートフォンにインストールしてお使いいただける便利なアプリ版が登場しました。冊子版の使い勝手をそのままに、位置情報との連動などアプリならではの機能も加わってさらに充実。外出のおともに「電話お願い手帳アプリ版」をぜひご利用ください。

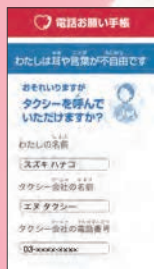


緊急事態なので助けてほしい



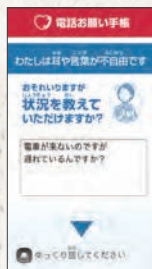
「病院へ連絡したい」「警察へ連絡したい」「災害伝言ダイヤルへ電話をかけたい」「避難場所を教えてください」等、緊急事態で助けを必要とする時に。

代わりに電話をかけてほしい



「待ち合わせに遅れる」「急用で行けなくなった」「タクシーを呼んでほしい」「今すぐ家族に連絡したい」等、自分の代わりに電話での連絡をお願いしたい時に。

何が起きているのか知りたい



「近くで災害や事故があったようなので様子を知りたい」「駅や列車内でアナウンスされた内容を知りたい」等、今その場で起きていることを教えてほしい時に。

目的地への道順を教えてください



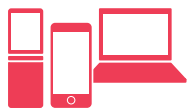
「近くにコンビニがあったら教えてください」「バス停へはどう行けばいいか教えてください」等、目的地の場所や道順を教えてください。

●今すぐアプリ(無料*)をダウンロード！

*ダウンロードやご利用時にかかる通信料は、お客様のご負担となります。



●アプリのほかに PC・スマートフォン・携帯電話でアクセスして利用できる Web 版もあります！



携帯電話・スマートフォン・PCから

キーワードで検索

電話お願い手帳Web版 🔍 検索



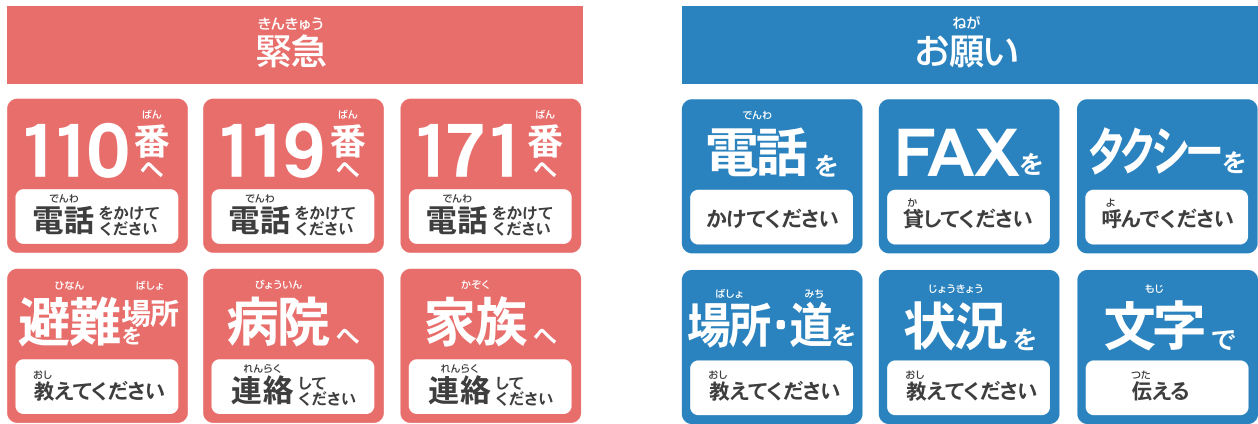
電話お願い手帳 Web版 トップページ

※PCからは印刷用 PDF をプリンター出力してご利用いただけます。

「電話お願い手帳 アプリ版」をスマートフォンに。 もしもの時のコミュニケーションをお手伝いします。

すぐに使える12のお願いメニュー

以下の12のメニューから、その時々状況に応じた項目を選び、内容を入力したメッセージを表示することで、近くにいる方に電話連絡などのお願いを伝えることができます。



使い方と表示例 (病院への電話連絡をお願いする場合)

①メニュー画面で自分の名前・電話番号を入力し「病院へ連絡してください」のアイコンを選択。

②入力画面で必要事項を入力または選択し、「お願い画面を表示」を選択。

③お願い画面が表示されますので、近くにいる方に見せて電話連絡をお願いしてください。

入力画面 (入力補助)

- 患者の名前: ○○ ○○
- かかりつけの病院名: ○○病院
- 病院の電話番号: ○○○○-○○○○
- 担当医師名: ○○先生
- 具合が悪いのは: わたし その他(た)
- いつから: 朝(あさ) 30分前
- 身体のどこが: 頭(あたま) その他(た)
- 症状: いたい その他(た)
- 伝える内容を追加する: 今朝薬を飲み忘れました

お願い画面

わたしは耳や言葉が不自由です

病院へ連絡していただけますか?

連絡先: ○○病院, ○○先生

患者の名前: ○○ ○○

わたしは 30分前から 頭(あたま)が いたいです

今朝薬を飲み忘れました

と伝えてください

Q & A

質問(しつもん)を入力(にゅうりょく)してください

回答(かいとう)を入力(にゅうりょく)してください

入力補助: ※下記を入力することで、各ページでの入力を省略することができます。

補助 A: わたしの名前

補助 B: わたしの電話番号

補助: ・わたし、・子ども、・夫(おつと)、・妻(つま)

補助: ・朝(あさ)、・昼(ひる)、・夕方(ゆうがた)、・夜(よる)、・昨日(きのう)、・おととい

補助: ・頭(あたま)、・腕(うで)、・足(あし)、・胸(むね)、・お腹(おなか)、・背中(せなか)、・全身(ぜんしん)、・指(さ)したところ

補助: ・いたい、・くるしい

補助の印がある項目は、1度入力して保存すると2回目以降の入力が不要となります。

詳しい使い方は「電話お願い手帳 Web版」トップページ下の「操作マニュアル」をご覧ください。 ※アクセス方法は表面にございます。